

〈史料紹介〉
周防長門両国「国絵図」関係史料

河 村 克 典

一 はじめに

江戸時代に、幕府が国絵図を集めたのは、慶長、正保、元禄、天保の各期であった。各期それぞれ、国絵図の他に、郷帳、道帳、縁絵図などが作成されている(第1表)。これまでの周防、長門両国の国絵図に関する研究は、川村博忠氏によって詳細な分析が行われている¹⁾。また、周防、長門両国の元禄国絵図に伴って作成された縁絵図については筆者の報告があるが、関係の史料全体について整理したものはない。

本稿では、周防、長門両国「国絵図」に関する史料に

周防長門両国「国絵図」関係史料(河村)

ついて、これまでの報告に加え、当館の毛利家文庫、袋入絵図を再点検して、全体の現存状況を報告してみたい³⁾。

二 慶長国絵図

周防、長門両国の国絵図、及び関連の史料を調査したところ、第2表のようになった。これらの史料は、地元²⁾の当館をはじめ、宇部市立図書館、国立公文書館内閣文庫などに所蔵されている。

周防、長門の慶長国絵図は、いずれも控図が現存している。本図には慶長期の朱印高を記載しており、裏書に「京進ノ控」とあることから、本図は慶長国絵図の控図

第1表 幕府の国絵図事業 川村博忠（1984）より作成

	開始年	担当者	縮尺	添帳類
慶長国絵図	慶長10 (1604)	西尾吉次 津田秀政	1里4寸程度 (1:32,400)	郷帳
正保国絵図	正保元 (1644)	井上政重 (大目付)	1里6寸 (1:21,600)	郷帳 城絵図 道帳
元禄国絵図	元禄10 (1697)	井上正岑 (寺社奉行)	1里6寸 (1:21,600)	郷帳 変地帳 国境縁絵図 海際縁絵図
天保国絵図	天保2 (1831)	明楽茂村 (勘定奉行)	1里6寸 (1:21,600)	郷帳 変地帳

であると考えられる（第1図）。

三 正保国絵図

周防、長門両国の正保国絵図の場合も控図が現存している（第2図）。この両国絵図は木箱に収められているが、この箱の中には、国絵図の他に郷帳二冊と道帳二冊が一緒に収められている。箱蓋の裏には「入日記」が貼られていて、この箱に収納の国絵図、郷帳、道帳は、すべて幕府へ提出されたものの控であることが分かる。

入日記

一、防長御両国之絵図 貳枚

但、慶安貳八月廿一日井上筑後守殿江、同年十一月廿日曾根源左衛門殿江被差上候御控、江木次郎右衛門調之

一、萩御居城之絵図 壹枚

但、慶安貳八月廿一日公儀被指上候処不足之品有之、如此調替、慶安五年六月十九日井上

一、御両国石高帳 貳冊

筑後守殿被差上候御控、厚母四郎兵衛調之
但、慶安貳十一月廿日曾根源左衛門、同三五
月廿一日井上筑後守殿江被指上候御控、江木
次郎右衛門調之

四 元禄国絵図

周防長門両国の元禄国絵図（第3図）は木箱に収められ、この中に、国絵図の他に寛政三年（一七九一）二月の「入証文」と文化八年（一八一）八月の「入日記」が入っている。寛政三年の「入証文」の内容は次の通りである。

入証文

一、周防国大絵図 一枚
一、同国山手縁絵図 三枚
一、同国海手縁絵図 三枚
一、同国郷帳 一冊
一、同国変地帳 一冊
一、長門国大絵図 一枚
一、同国山手縁絵図 二枚
一、同国海手縁絵図 三枚
一、同国郷帳 一冊

幕府に提出された正保国絵図は明暦二年（一六五六）に大火で焼失したため、幕府は、再度、国絵図の提出を命じている。内閣文庫には、最初に提出された国絵図とこの大火の後に提出された国絵図のそれぞれの写図がみられる。前者は中川忠英旧蔵図がそれにあたり、後者は松平乗命旧蔵図である。

一、同国変地帳 一冊

一、豊前国縁絵図 一枚

并小笠原右近将監殿家来より之来状式通写

一、安芸国縁絵図 一枚

但、松平安芸守殿家来より調越候写

一、石見国縁絵図 一枚

但、亀井隠岐守殿家来より調越候証判絵図写

右元禄十二年より同十四年迄公儀江差上候御絵図之

控、一箱入に候也、同十五年午五月厚母三左衛門入

証文を以御宝蔵江納置候処、明和六丑五年五月御用

二付江戸表被差越、安永元辰二月御類焼之節及焼失、

右之御控絵図方ニ有之候故、前書之廉々此度写調被

仰付、外ニ調之記録一冊添置者也

寛政三亥

二月

平田仁左衛門

調之

この「入証文」によると、元禄十二年(一六九九)か

ら十四年までに幕府に提出した国絵図の控図は、同十五

年に厚母三左衛門が宝蔵へ収めたが、明和六年(一七六

九)、江戸へ運んだところ、安永元年(一七七二)の火事

で焼失してしまった。そのため、絵図方が所持していた

控図を写したという。この箱の中に入っている絵図は、

この絵図方の絵図を写したものだと考えられる。

五 天保国絵図

天保国絵図はこれまでの国絵図とは作成方法が異なり、

元禄国絵図を写したものを地元が掛紙で修正し、それを

もとに幕府が清絵図を作成した。周防、長門両国の場合

は、毛利家文庫にこの掛紙で修正した絵図の控(第4図)

が、また、内閣文庫には幕府による清絵図が現存して

いる。⁽³⁾このうち、毛利家文庫の天保国絵図が収められて

いる箱には次のような記事がみられ、掛紙による国絵図

修正の様子が分かる。

〔箱蓋の表〕

天保八年酉年勘定所被差出候控

周防国六卷

御両国絵図

長門国七卷

〔箱蓋の裏〕

元禄之度大公儀被差上候御国絵図、郷帳年曆相立候

付、天保式卯年御国高取調被仰出候処、御調出来ニ

付、今般御国絵図之儀茂御改被仰出候、依之元禄之

度絵図写、相渡候間、往還并海岸通、川筋其外新田

村々ニ至マテ不洩様、当時之地模様、右絵図ニ掛紙

ニ直シ候様、天保六年被仰出、右御渡相成候写図エ

掛紙ニテ直シ、天保八年御勘定所被差出候控、委細

之記録絵図方ニ有之

六 おわりに

周防、長門両国「国絵図」に関係する史料を整理した。

周防、長門両国の場合、原本の他に控、写を含めると、

関係の史料はほとんど残っていることが分かる。

周防長門両国「国絵図」関係史料(河村)

慶長、正保、元禄、天保各期の地元に残る周防、長門
両国「国絵図」については、川村博忠氏によって詳細な
研究が行われているが、幕府が作成した内閣文庫蔵「天
保国絵図」については、これまでに記載内容の調査は行
われていない。国絵図は大型で個人での閲覧は困難であ
ることから、今後の公的機関の企画を期待したい。⁽³⁾⁽⁶⁾

(注)

(1) 川村博忠(一九八四)『江戸幕府撰国絵図の研究』、古今書院。
川村博忠(一九九〇)『国絵図』、吉川弘文館。

(2) 河村克典(一九九七)『元禄国絵図に伴って作成された周防・
長門両国の縁絵図』、山口県地方史研究、第七七号。

(3) 一九九九年一月の「文書館ウィーク」で、筆者は「国絵図」
展示の企画を担当し、その際、現存する周防、長門両国に関す
る国絵図関係史料について整理する機会があった。

(4) 福井保(一九七八)『内閣文庫所蔵の国絵図について(続)』、
北の丸、第一〇号。長澤孝三(一九八四)『国立公文書館内閣文

庫所蔵国絵図・郷帳の重要文化財指定について、北の丸第一
六号。

(5) 沖縄県教育委員会文化課、琉球国絵図史料編集委員会（一九

九四）：琉球国絵図史料集、第三集、天保国絵図・首里古地図及

び関連史料、榕樹社。

(6) 長野市立博物館（一九九八）：第四〇回特別展、信濃国絵図。

一九九八年に長野市立博物館で展示「信濃国絵図」が催され、

ここに、地元につながる国絵図に加え、幕府が作成した内閣文庫

所蔵の「天保国絵図」が展示された。

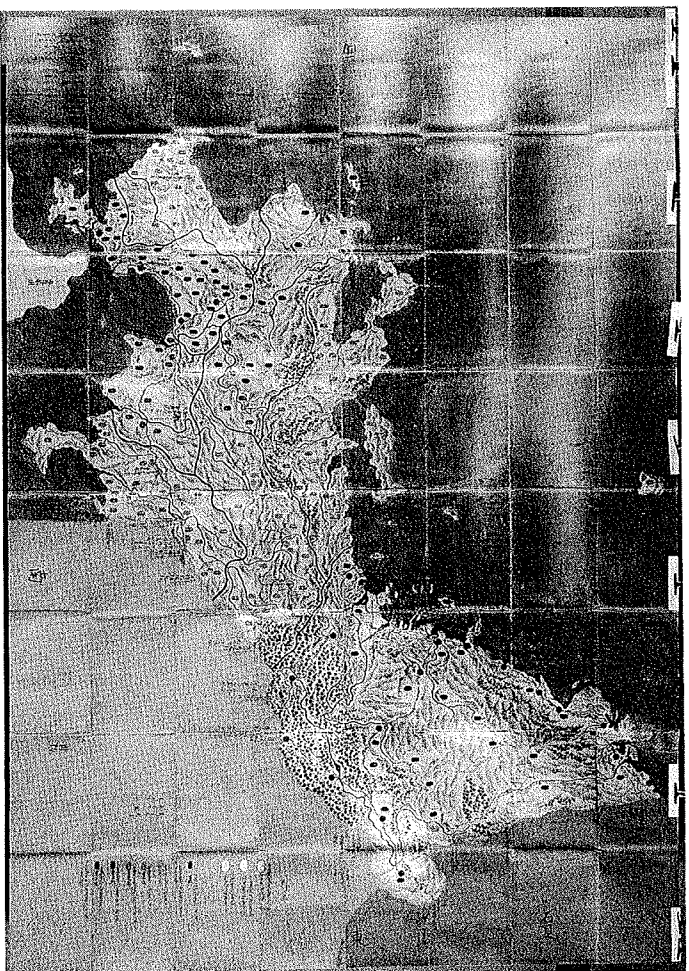
第2表 周防長門両国「国絵図」関係史料

No.	請求番号	史料名	絵図の内容	備考
I 幕命による国絵図作成				
(1) 慶長国絵図				
1	字部	周防長門十四郡高辻絵図	慶長周防国絵図 控	312×167
2	”	”	慶長長門国絵図 控	263×169
(2) 正保国絵図				
3	毛絵238	防長両国大絵図 箱	正保周防国絵図 控	330×553
4	”	”	正保長門国絵図 控	335×480
5	”	”	正保周防郷帳 控	
6	”	”	正保長門郷帳 控	
7	”	”	正保周防道帳 控	
8	”	”	正保長門道帳 控	
9	毛絵409	萩絵図	正保萩城絵図 控	273×266 慶安5年
10	内閣163-286	日本分国図 第59編 周防国	正保周防国絵図 写	中川忠英旧蔵
11	”	” 第60編 長門国	正保長門国絵図 写	”
12	内閣176-282	日本分国絵図 周防国図	正保周防国絵図 写	松平兼命旧蔵
13	”	” 長門国図	正保長門国絵図 写	”
(3) 元禄国絵図				
14	毛絵246	周防長門大絵図	元禄周防国絵図	440×612
15	”	”	元禄長門国絵図	403×525
16	毛政353	周防国郷帳 長門国郷帳	元禄周防郷帳	元禄12年
17	”	”	元禄長門郷帳	元禄12年
18	毛政354	周防国笈地帳 長門国笈地帳	周防国笈地帳	元禄14年

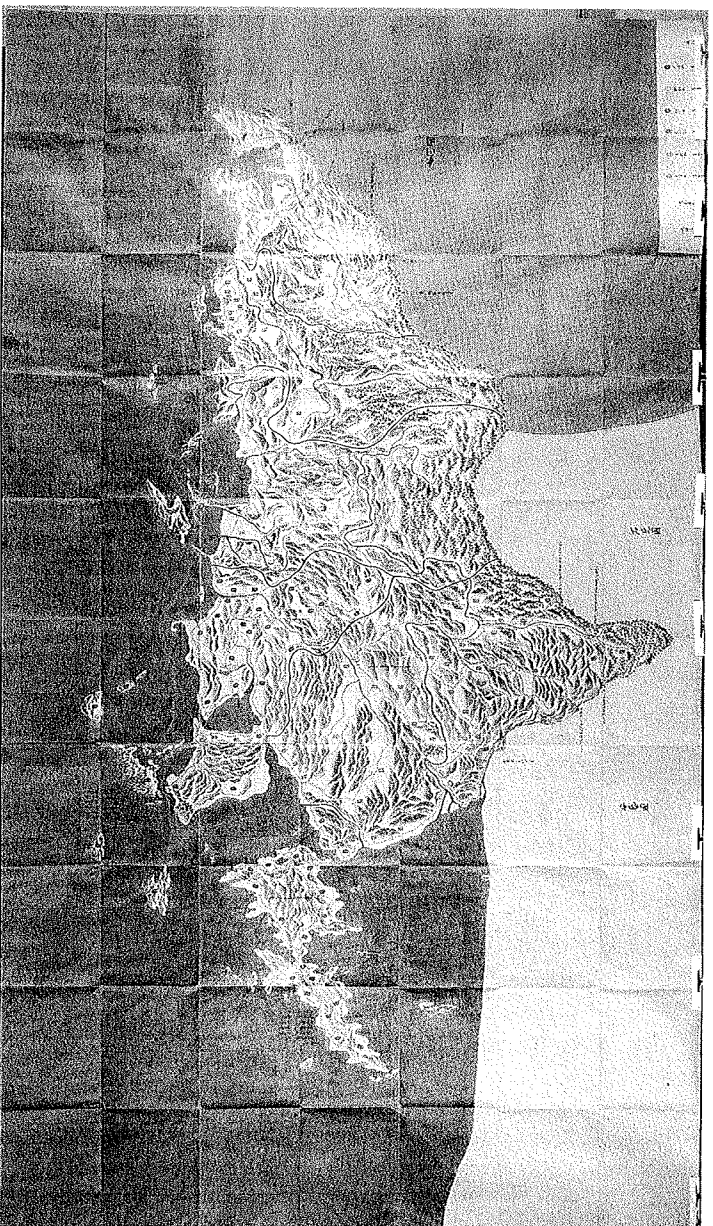
19	”	”	長門国交地帳	元禄14年
(4)	天保国縁図	国縁図 第104鋪	天保周防国縁図 原本	紅葉山 619×409
20	内閣待83-1	” 第106鋪	天保長門国縁図 原本	紅葉山 486×391
21	”	” 第105鋪	天保周防国縁図 原本	勘定所 623×413
22	”	” 第107鋪	天保長門国縁図 原本	勘定所 533×409
23	”	” 第107鋪	天保周防国郷帳 原本	
24	内閣176-281	天保郷帳 第63冊	天保長門国郷帳 原本	
25	”	” 第64冊	天保周防国縁図 6巻	
26	毛絵244	御面国縁図 箱	天保長門国縁図 7巻	
27	”	”		
28	毛政10	防長両国石高帳(11)郷村高帳草案		天保5年
II	国縁図の作成過程			
(1)	慶長国縁図			
29	毛幕11	御奉書品々写(2)本多佐渡守(正信)書状		
(2)	正保国縁図			
30	毛財24	防長両国縁図色替二付申入覚書并大目付井上政重返状		(正保3年)10月21日
31	毛遠136	寛(国縁図作成二付)		
32	毛絵240	長門周防阿国縁図		
(3)	元禄国縁図			
33	毛絵235	安芸国佐伯郡略図	周防国境安芸国縁図	
34	毛絵237-1	安芸国・石見国・豊前国縁図	周防国境安芸国縁図	
35	毛絵264	安芸国境周防国縁図	安芸国境周防国縁図	
36	毛絵237-2	安芸国・石見国・豊前国縁図	周防長門国境石見国縁図	
37	毛絵263	石見国境周防国縁図	石見国境周防国縁図	
38	袋14	御両国縁図	石見国境長門国縁図	
39	毛絵343	石見国境長門国縁図	長門国境周防国縁図	
40	毛絵262	長門国境周防国縁図		

41	袋13	御両国縁図	長門国境周防国縁図	
42	毛絵342	周防国境長門国縁図	周防国境長門国縁図	
43	毛絵261-1	周防国海手縁図	周防国海手縁図(熊毛・都濃)	221 × 239
44	毛絵261-2	周防国海手縁図	周防国海手縁図(熊毛・都濃)	116・5×148・5
45	袋30	防長海岸図	周防国海手縁図(都濃・佐波・吉敷)	102 × 188
46	毛絵261-3	周防国海手縁図	周防国海手縁図(厚狭・豊浦)	102 × 185
47	毛絵344-1	長門国海手縁図	長門国海手縁図(豊浦・大津)	140 × 248
48	毛絵344-2	防長海岸図	長門国海手縁図(豊浦・大津)	110 × 186
49	袋31	長門国海手縁図	長門国海手縁図(大津・阿武)	105 × 186
50	毛絵344-3	防長海岸図	長門国海手縁図(大津・阿武)	189 × 207・5
51	袋32	安芸国・石見国・豊前国縁図	豊前国海手縁図(玖珂・大島・熊毛)	187 × 214
52	毛絵237-3	周防国海手縁図写	周防国海手縁図(玖珂・大島・熊毛)	89 × 114
53	毛遠2342	周防国境安芸国山手縁図	周防国境安芸国縁図	元禄14年被差上候写
54	毛絵269-3	安芸国境周防国縁図	周防国境安芸国縁図	
55	毛絵269-2	周防長門一枚絵図	安芸国境周防国縁図	
56	毛絵239	周防長門二枚絵図		
57	毛絵242	御両国縁図		
58	袋15	御両国縁図覚書		
59	毛諸557	諸国工絵図調出候様ニト従公儀被仰渡候覚書		元禄12年
60	毛地31	御両国縁図被差上覚		元禄10～11年
61	毛地32	御両国縁図公儀被差出候一件二付江戸送御用状其外控		元禄10年
62	県167	両国縁図調方沙汰書		元禄10年

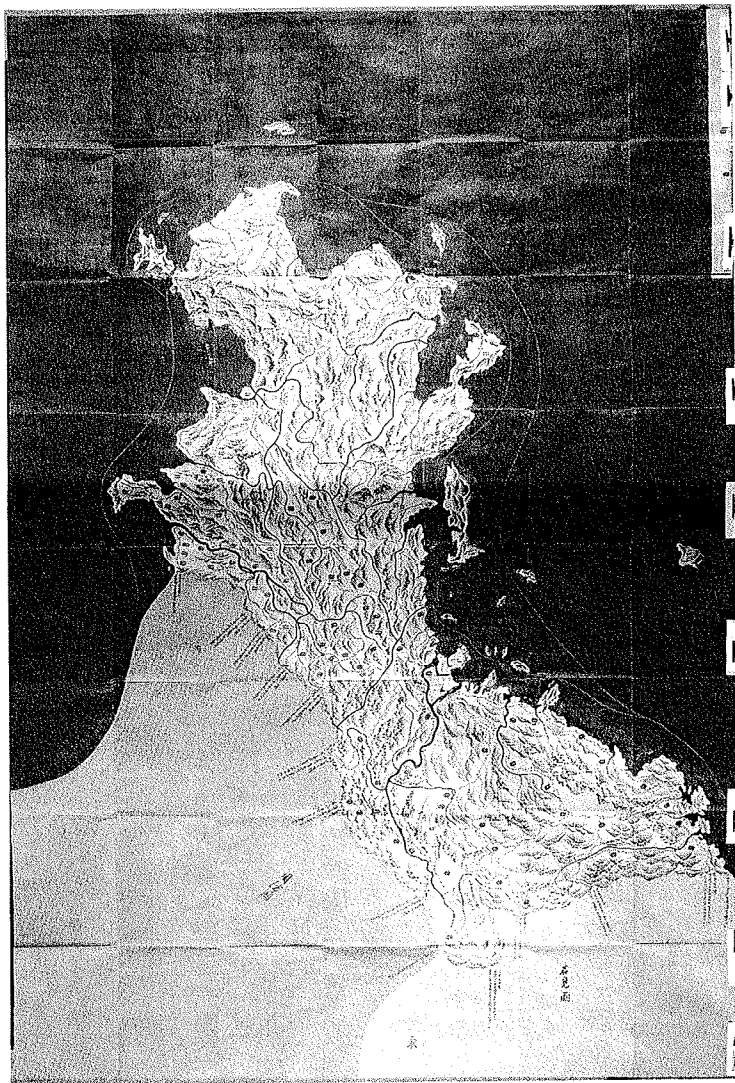
注：「毛政」「毛地」「毛財」「毛絵」「毛幕」「毛遠」は、それぞれ山口県文書館毛利家文庫「政理」「地誌」「財政」「絵図」「幕府」
 「適用物」、「袋」「県」は同館「袋入絵図」「県庁伝来旧藩記録」。「宇部」は宇部市立図書館、「内閣」は国立公文書館内閣文
 庫。大ききの単位はセンチメートル。



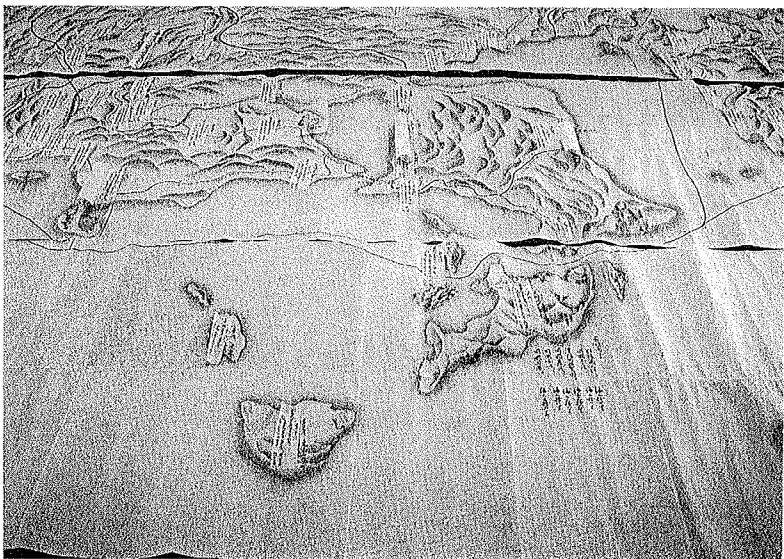
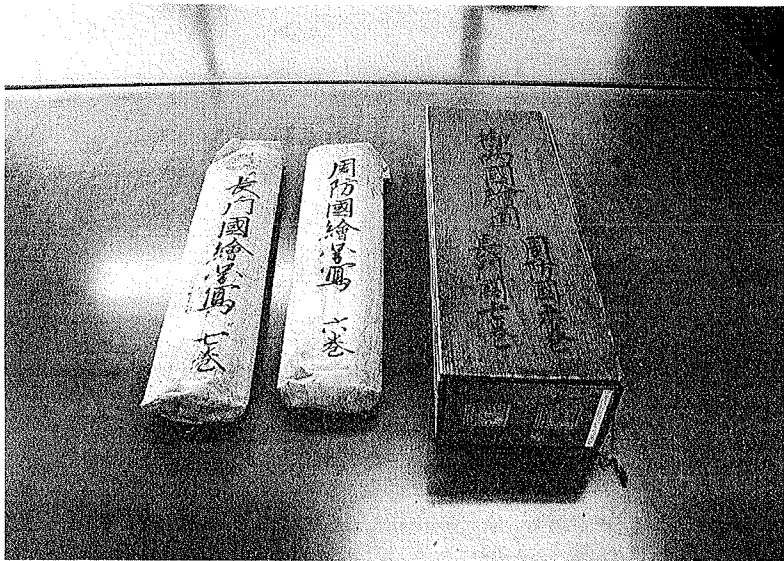
第2-2図 正保長門国絵図 山口県文書館毛利家文庫



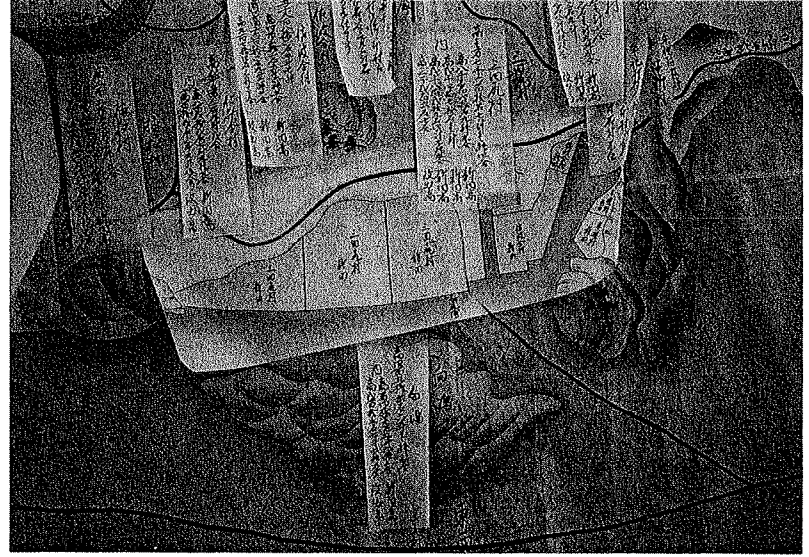
第3-1図 元禄周防国絵図 山口県文書館毛利家文庫 ※絵図の北側8分の1は写されていない



第3-2図 元禄長門国絵図 山口県文書館毛利家文庫 ※絵図の北側8分の1は写されていない



第4-1図 天保周防国絵図 天保長門国絵図（上）
天保周防国絵図 熊毛郡付近（下）
山口県文書館毛利家文庫



周防長門兩國「国絵図」關係史料（河村）



第4-2図 天保周防国絵図 三田尻付近 山口県文書館毛利家文庫